

にし西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1

TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時～

◎西区協力番組「西区まちセン最前セン」同局毎週木曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2008・2

福祉除雪地域協力員 八軒中学校2年生

こだま ゆうき
小玉 悠貴君(14)…左

うめむら そら
梅村 空良君(14)…中央

おおひがし たつや
大東 達也君(14)…右

○福祉除雪とは

自力での除雪が困難な高齢者や障がい者の世帯を対象に、間口（道路に面した出入り口部分）と玄関までの通路部分の除雪を、地域住民などの地域協力員が行うもの。基本的に道路除雪が行われた日の午前中に実施。区内の利用者数は545人、地域協力員は334人（平成19年12月現在）。

本年度から、西区社会福祉協議会が区内の中学校4校にお願いして地域協力員を募集したところ、5人の応募があった（上記3人のほか、八軒東中学校の2人）。

【問い合わせ先】

西区社会福祉協議会 TEL641-2400(内線459)



毎年たくさんさんの雪が降り積もる札幌で、市民の悩みといえば雪の処理。特に高齢者や障がいのある方にとって、雪かきはつらいものです。そんなときに強い味方になるのが、ボランティアである福祉除雪の地域協力員です。

地域協力員の小玉君、梅村君、大東君に応募の動機を尋ねると、小玉君は「早起きができるようになりたい」、梅村君は「自分本位に行動しがちな性格を直したい」、大東君は「学校の部活動の時間が少なくなり時間に余裕ができたから」とさまざまですが、三人に共通するのは「地域の



■木村さん宅の前で除雪する様子

除雪を通じて地域の人役に立ちたい

人と触れ合う機会を持ちたい」「人の役に立ちたい」という熱い思いです。

日が昇る前に起きて、寒さに震えながらも一生懸命除雪をしている三人ですが、眠気や寒さに耐えて活動を続ける力の源は、利用者に喜んでもらいたいと思う気持ち。大東君は「利用する人が感謝の言葉を掛けてくれたり、パンを差し入れてくれたりという優しい心遣いがうれしい」と話します。

福祉除雪を利用する木村美代子さんは「初めは中学生と聞いて驚いたけど、責任を持って除雪している姿がとても頼もしい」と笑顔で感謝の気持ちを伝えます。

三人とも、この活動を始めてから、他人を思いやる気持ちの大切さをあらためて感じました。そう。「バスの座席をお年寄りに譲るようになった」と小玉君。野球部の主将を務める梅村君は「部活動での心構えを身に付けるのに良いので、部の後輩にも勧めたい」と語ります。

これからも、除雪を通じて「地域の人々が安心して暮らせるように」という思いを胸に、除雪活動に励みます。



まちの人

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがき、ファクス、Eメール nishi@city.sapporo.jp 西区総務企画課広聴係（上欄へ）。